

インターバンクの声（2015 年 12 月 9 日）

心配されていた中国の貿易収支が輸出入ともに予想以上に悪く、前年同月よりも輸出は6.8%、輸入が8.7%も減少した。石油輸出国機構（OPEC）が減産を見送り、原油価格の下落が止まらない失望感もあって案の定、市場のリスク回避姿勢が欧州時間により強まった。株式市場でのエネルギー関連銘柄の下げも続き、ロンドン株式市場の株価は4営業日連続の下落、ニューヨーク株式市場のダウやナスダックも下げて終わった。さすがに、来週の米連邦公開市場委員会（FOMC）が利上げするのをためらう結論を出すのではないかと観測にまで至ってはいないが、為替市場でも世界経済減速への不安が再び台頭してきたことに対してドル売りに一番しわ寄せが来ている。原油価格がニューヨーク市場の終盤に戻したこともあってドルも若干戻しているが、足許の市場は、来週の利上げよりもドルにとってネガティブになる材料が気になっている。今日もアジア時間に中国の物価関連指標の発表が予定されており、数字によっては再びドル売り圧力が加わってくるかも知れない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。